



もりのふしぎ

きをつけよう「しんりんかさい」

イラスト/たけだあおい

このコーナーでは、環境問題・自然のことに関する言葉をポロンといっしょに学んでいきます。ぜひお父さまとの対話のきっかけにしてください。



いったいどうして
ひがついたんだワン?

かみなりなんかで
しぜんにおこることも
あるけど、ほとんどは
「たきび」や「ひいれ」
などのひが、ひろがっ
てしまったのがげんい
んだロン



ふゆからはるに、
かじがおきやすいのは
なんでだワン?

かれはが
おおかったり、
かんそうしていたり、
かぜがつよかったり
するからだロン。
だから、このじまは
とくにちゅういが
ひつようだロン



かじでうしなわれたもりは、もどるまでにとってもながいじかんがかかるロン。だからみんなできをつけることがだいじだロン



おうちの方へ 日本の山火事は1年間に約1,300件発生し、焼損面積は約600ha^{ヘクタール}です。そのうち約7割が冬から春(1月~5月)にかけて発生しています。これは、森林内に落ち葉が積もり燃えやすい状態になっていることや、強風、乾燥といった自然条件が重なること、また、春先は、行楽や山菜採りのために山林に入る人が増加するほか、農作業に由来する枯草焼きなどが飛び火することも原因となっています。発生した林野火災のうち原因が明らかなものについては、「たき火」が31.4%で最も多く、次いで「火入れ」、「放火(疑い含む)」、「たばこ」となっており、落雷など自然現象によるものは稀となっています。【参照】林野庁サイト 【監修】セブン-イレブン記念財団 高尾の森自然学校 後藤章